

2020年9月22日



キリスト教センター 通信 Vol.16



激励メッセージリレー

タイトル

『 シールが はがれない！』

大学オルガニスト 伊藤 純子 先生

新しい冷水ポットを使う前に、貼ってあるシールを無理やり爪ではがそうとしましたが、なかなかはがれません。しばらく水に浸けておいたり、ドライヤーを当てるなど、有効な方法があることはわかっていますが、つい焦ります。

これは、「心のレッテルをはがす」ときも、同じです。決めつけや固定観念、つまり自分の心の表面に固く貼られたレッテルは、どんな時にも邪魔をしてきます。

「普通こうでしょ。」「あんなの有り得ない。」「私って(あの入って)こういう人間だから。」などのレッテルから自由になることができれば、無限の可能性がひらけます。心に羽が生えます。その羽は柔らかく、そして強く、未知の世界にどこまでも連れて行ってくれます。

シールと同じで、レッテルそのものを何とかしようと爪を立ててもはがれません。ツルリとレッテルがはがれるための方法は、ただひとつ、ふわりと「耳をすます」ことです。思わぬところに「水」や「ドライヤー」はあるものです。

目を閉じて深呼吸、全身を耳にして、心を傾ければ、思いがけない発見が必ずあります。その先には、見たこともない自由な世界が広がっているはずです。

キリスト教 一口メモ 「パイプオルガン (1) 」

礼拝の音楽を支える楽器として、パイプオルガンは非常に長い歴史を歩んできました。それは、「歌う楽器」であるから。

人は古代より、喜びのとき、苦しみのとき、心を合わせるとき、常に「歌」と共にありました。礼拝においても「歌」は大切な役目を持っているのです。

本学のパイプオルガンは、大小さまざまなパイプが約1800本あり、色とりどりの「歌」を奏でます。



音色はこちら

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中に
あるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力
が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心にかなった正しい行動を心がけることができます
ように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることが
できますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。 アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲し
みの中にある人のために獻げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。
また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も
神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮
らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々
を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者
の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息
に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。 アーメン

自然災害の被災者のための祈り

天地の造り主である主よ、あなたは苦しみ悩みのうちにいる人びとを支えてくださいます。どうか今、
全国各地での豪雨や台風などの自然災害によって苦難のうちにいる人びとを顧み、ふたたび立ち上がる
力をさすけてください。また、わたしたちもこの人びとの悩み苦しみを祈りのうちに覚え、その痛みを
少しでも共に担うことができますように。苦しむ人と共に歩んでくださる、主イエス・キリストによって
お願いいたします。



神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで